

常葉グリーンプロジェクト2024 in 草薙・瀬名 キャンパス



キーワード

SDGs、エネルギー、節電

○取り組んだきっかけ

私達が普段使用する電気は、化石燃料を使った火力発電が8割を占めています。化石燃料を使用すると、それに含まれる炭素が酸素と結合し、地球温暖化につながる二酸化炭素が発生してしまいます。

節電は地球温暖化を促進させないために重要であり、実行しようと思えばすぐに出来るものなのだと感じたことが、グリーン・プロジェクトに取り組むきっかけとなりました。

○活動の目的

グリーン・プロジェクトを行うことで、学生一人一人に節電の意識を持って欲しかったからです。また、節電のために何が出来るのかを考え、節電を心がけることに繋げて欲しかったからです。

○具体的な内容

今年度、草薙・瀬名キャンパスでは「常葉グリーン・プロジェクト2024夏」（7・8月）・「常葉グリーン・プロジェクト2024冬」（12月）の2回にわたって節電活動を実施しました。

「夏」では

- ①造形学部生作成のポスター掲示(写真)
- ②学内に掲示された「節電アイデア」に対し「いいね」(スタンプ)を集める活動
- ③石田社会環境学部長とのパネルディスカッション(テーマ:『地球温暖化問題への貢献という観点からの“節電”の意義について』)
- ④節電に対して自分が取り組む「マイルール」設定の呼びかけ

の4つの活動を行いました。

おそらく、②「いいね」を押したり、④「マイルール」を設定してくれた学生は、それぞれ節電アイデアを実行してくれたと思います。

節電を呼びかけ
ポスター掲示
造形学部生制作



岡本 タロウ

外国語学部

グローバルコミュニケーション学科

学生評議員会 議長団メンバー



「冬」では

- ①「TGS」(とこは・学生・ショー)
- ②節電に対して自分が取り組む「マイルール」設定の呼びかけを行いました。

①「TGS」では有志学生がモデルとなり、ファッションショー形式で防寒ファッションを紹介しました。また、夏に引き続いて実施した②「マイルール設定」では576人の学生から「教室から出るときに誰もいなかったら電気を消す」や「重ね着をして暖房の使用を避ける」といった回答が集まりました。1月初旬には、マイルールを設定した学生を対象にお汁粉を振る舞い、温まってもらいました。



静岡瀬名
キャンパスにて
おしるこ食べて
温まろう!!

○期待される効果

今年度の取り組みの中で、最も効果的だったのは「マイルールの設定」だと考えられます。

実際、「マイルールの設定によって、自分の意識に変化はありましたか?」という質問に対し、次のような回答がありました。

マイルール設定によって	意識が「変わった」	意識が「変わらなかった」
グリーン・プロジェクト2024夏	381	678 (「普段から意識している」を含む)
グリーン・プロジェクト2024冬	367	64

この結果から、1年を通して「マイルールの設定」を呼びかけることにより、まずは自分でルールを考え、設定することが節電意識を高める良い機会になることがわかりました。今後も、より一層節電意識が向上していくことを期待しています。

連携先

常葉大学・常葉大学短期大学部

静岡草薙キャンパス学生課・静岡瀬名キャンパス学生担当